

第41週の発生動向(2006/10/9~2006/10/15)

1. 水痘については、東地方保健所管内で第40週から**警報**が継続しています。
2. 流行性耳下腺炎については、東地方保健所(第40週~)から**警報**が継続、上十三保健所管内(第40週~)では**注意報**が継続しています。

第41週五類感染症定点把握

疾患番号・疾患名	東地方		弘前		八戸		五所川原		上十三		むつ		青森市		青森県計		増減数 (前週からの増減)
	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	数	定点	
(72) インフルエンザ																	0
(60) 咽頭結膜熱					3	0.33			2	0.33			3	0.38	8	0.19	4
(61) A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	1.00	5	0.56	4	0.44			7	1.17	4	1.00	5	0.63	26	0.62	-4
(62) 感染性胃腸炎	4	4.00	9	1.00	3	0.33	3	0.60	9	1.50	22	5.50	7	0.88	57	1.36	15
(63) 水痘	7	7.00	14	1.56	7	0.78	2	0.40	3	0.50	1	0.25	6	0.75	40	0.95	-15
(64) 手足口病			3	0.33	13	1.44	1	0.20	2	0.33			12	1.50	31	0.74	4
(65) 伝染性紅斑					1	0.11	2	0.40	4	0.67	1	0.25			8	0.19	-7
(66) 突発性発しん			5	0.56	6	0.67			2	0.33	6	1.50	5	0.63	24	0.57	3
(67) 百日咳																	-1
(68) 風しん																	0
(69) ヘルパンギーナ													5	0.63	5	0.12	0
(70) 麻疹(成人を除く)																	0
(71) 流行性耳下腺炎	3	3.00	13	1.44	15	1.67	3	0.60	19	3.17	9	2.25	10	1.25	72	1.71	-8
(73) 急性出血性結膜炎																	0
(74) 流行性角結膜炎			1	0.33	1	0.50	1	1.00	1	0.50					4	0.36	-5
(59) RSウイルス感染症											2	0.50			2	0.05	0
(82) マイコプラズマ肺炎					3	3.00					5	5.00			8	1.33	1

保健所名	定点数				
	インフルエンザ (内科+小児科)	小児科	内科	眼科	基幹
東地方	2	1	1	0	0
弘前	15	9	6	3	1
八戸	14	9	5	2	1
五所川原	7	5	2	1	1
上十三	9	6	3	2	1
むつ	6	4	2	1	1
青森市	12	8	4	2	1
合計	65	42	23	11	6

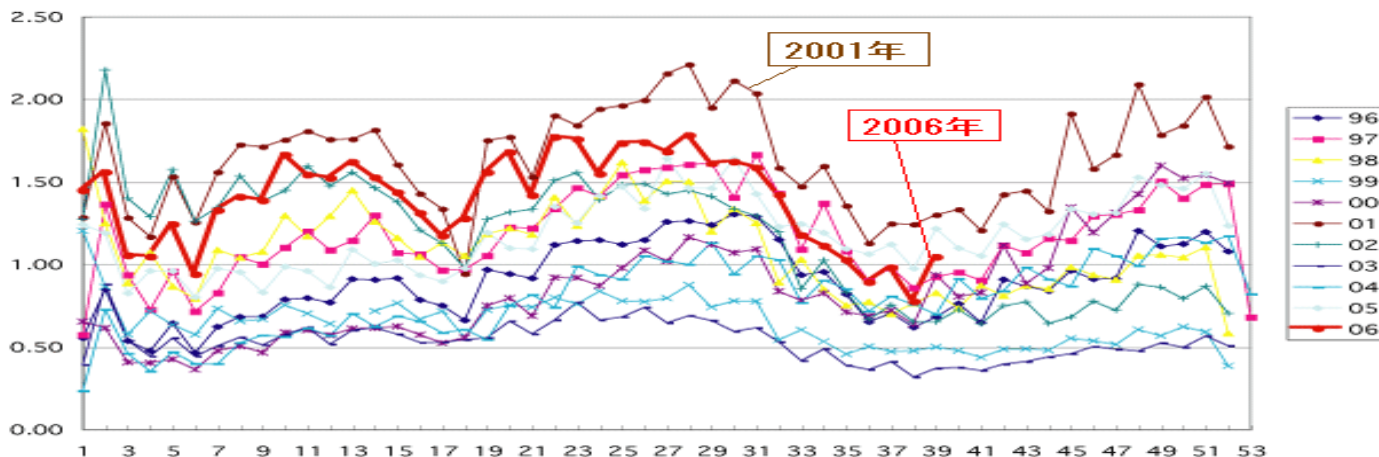
■ は警報 ■ は注意報 「空欄」: 患者発生数0

表 以外の感染症法対象疾患 (18年計には、今回届出された人数を含む)

(14) 腸管出血性大腸菌感染症(三類全数把握疾患) : 八戸保健所: 1人、むつ保健所: 1人 (18年計: 53人)

感染症の窓

流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)



国内における1996年から2006年までの週別報告数推移 (国立感染症ホームページより転載)

本疾患は、ムンプスウイルス感染により、耳下腺が腫脹する感染症です。2006年は、過去10年間において最多となった2001年に近い報告数で推移しています。本県においても、例年を大きく上回る報告数で推移(感染症の窓第32週で掲載)しています。感染者への接触や唾液などの飛沫により感染し、耳下腺の腫れや痛み等の症状を呈します。また、無菌性髄膜炎、髄膜脳炎、難聴、睾丸炎、卵巣炎等の合併症を起こす場合もあるので、注意が必要です。ワクチン接種及び登校や登園は医師に相談しましょう。日頃の予防としては、**手洗いの励行**、**タオルの共用を避ける**ことが大切です。